

第12回 大学の若手研究者ショートプレゼン&交流会 ~KOBEアカデミックトーク~

生活の質を高めるリハビリ支援技術の最前線

~呼吸機能評価の新デバイスと子育て支援アプリの開発

10月23日(木) 18:30~20:00

開催概要

(一社)大学都市神戸産官学プラットフォームでは、大学研究をもっと身近に感じていただけるよう、参画大学の研究者によるプレゼンテーションと対話の場「KOBEアカデミックトーク」を開催しています。

第12回は、神戸学院大学総合リハビリテーション学部作業療法学科より田代大祐さんと倉昂輝さんをお迎えし、「生活の質を高めるリハビリ支援技術の最前線」をテーマに、呼吸機能を評価する新しいデバイスと、子育てを支える支援アプリの開発についてご紹介いただきます。日常生活に寄り添うリハビリテーションの研究は、健康づくりや発達支援の新たな可能性を拓くものです。

医療・福祉・教育に関心のある方はもちろん、企業の皆さまに とっても研究連携のヒントとなる内容です。

研究者と直接語り合える貴重な機会です。

ぜひご参加ください!

【日時】

10月23日(木) 18:30~20:00 (受付18:00~)

【会場】

KOBE Co CREATION CENTER (センタープラザ9階)

【対 象】

テーマに関心のある企業・事業者・ 学生・自治体職員・市民の皆さま 【定 員】

30名程度(事前申込制・先着順)

参加申し込みはこちら ※締切:10月21日(火)



プレゼンター

ファシリテーター



田代 大祐 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 作業療法学科 講師



倉昂輝

神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 作業療法学科 研究員



宮川潤

MIRACLE SCIENCE INNOVATION(株) 代表取締役CEO 大阪公立大学 研究推進機構 特任教授

(一財) 未来医療推進機構 理事長補佐

プレゼンター

生活の質を高めるリハビリ支援技術の最前線

~呼吸機能評価の新デバイスと子育て支援アプリの開発



たしる だいすり 田代 大祐

神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 作業療法学科 講師

プロフィール

国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科博士課程を修了し、博士(保健医療学)。急性期から回復期、そして生活期にわたる医療施設において、作業療法士としての臨床経験を積み、その後現職。専門は、呼吸機能評価およびサルコペニア研究、(※サルコペニア:高齢に伴って骨格筋量が減少し、筋力や身体機能が低下する状態)であり、臨床現場において活用可能な新しい評価法の確立を目指しています。これまでの研究成果は、学術論文や学会発表を通じて国際的に発信しており、産学連携にも積極的に取り組んでいます。得られた知見は、地域住民の健康増進や介護予防への応用を図ることで、社会貢献にも力を注いでいます。

プレゼンテーマ

「呼吸機能評価の簡素化に向けた新規デバイスの開発」

近年、運動能力や免疫機能の向上に有効とされる呼吸筋トレーニングが注目されています。しかし、その効果判定に用いる従来の測定機器は、専門性が高く、一般利用が難しいという課題がありました。この課題に対し、我々は、呼吸の状態を手軽に測定できることを目指して、「腹部隆起量測定器」を開発しました。この装置は、腹部の膨らみを測ることで、身体に負担をかけることなく、簡単に呼吸機能を確認することができます。すでに実施された精度実験では、本デバイスの良好な測定結果が認められており、今後は製品化に向けた検討を進めてまいります。今回は、この新規評価デバイスに関する研究詳細をご紹介します。

くら こうき

神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 作業療法学科 研究員

プロフィール

兵庫医療大学大学院 医療科学研究科修士課程を修了し、修士(医療科学)。現在は、北里大学大学院 医療系研究科博士課程に在籍し、作業療法士として研究と実践に取り組んでいます。専門は、発達 に特性のある子どもへのリハビリテーションであり、特に子どもを育てる保護者への子育て支援に 焦点を当てた研究を推進しています。臨床実践で培った知見に基づいて概念モデルの構築を行い、 さらにアプリケーション開発などの手法を通じて、研究成果の社会実装に積極的に取り組んでいます。これにより、学術研究と臨床現場との橋渡しを担い、現場の課題解決に貢献することを目指しています。

プレゼンテーマ

「子どもと家族の大切な作業の実現を叶える子育て支援アプリの社会実装」

発達に特性のある子どもへの作業療法においては、子ども本人とそのご家族と協働しながら、日常生活における困りごとに対して包括的なサポートを提供することが求められています。しかしながら、実生活の場において当事者を支援できる専門的なツールは、依然として限られているのが現状です。この課題に対応するため、我々は作業療法士と協働し、日常生活の中で簡便に活用できる子育て支援アプリを開発しました。本アプリは、専門的な知見に基づき、ご家族が実生活で直面する課題解決を支援するツールとして設計されています。今回はこの子育て支援アプリの詳細と、その社会実装に向けた具体的な取り組みについてご紹介します。

ファシリテーター



参加申込はこちらから 事前申込制(先着順) 締切:10月21日(火)

プロフィール

三井住友銀行にて、20年超電機・通信・メディア・IT業界を担当。 国内外の様々な案件を手掛ける。

2021年2月より、関西圏のスタートアップエコシステム構築、産官学連携、オープンイノベーションを担当。2023年4月より独立。2023年11月、SUNDRED(株)取締役CFOに就任。新産業共創、地域における産業作りとしてリビングラボに尽力。2024年3月、大阪大学名誉教授 澤芳樹氏をエグゼクティブアドバイザーとするMIRACLE SCIENCE INNOVATION(株)を設立し、代表取締役CEOに就任。NakanoshimaQrossを舞台にライフサイエンス・ヘルスケア領域のインキュベーション事業をスタート。



みゃがゎ じゅん **宮川 潤**

MIRACLE SCIENCE INNOVATION(株) 代表取締役CEO 大阪公立大学 研究推進機構 特任教授 (一財) 未来医療推進機構 理事長補佐

